

Marcela Present's 徳島聖テモテ教会から愛をこめて

# も テモテ通信

Vol.10 2022 Easter 号

Happy Easter! 🐣🥚🐰



4月に入り、一気に春になりました。眉山からウグイスの声も聞こえ、そよぐ風も心地よいです。2月末頃の梅に始まって、蜂須賀桜、菜の花、ソメイヨシノの盛りが終わり、今はチューリップが美しいです。これからも、ツツジ、サツキ、ショウブ、アジサイ、、と花が美しく咲いていきます。ワクワクしますね！

イエスが復活されたエルサレムの春がどのような感じなのか知らないのですが、草木が芽吹き、花も咲き始めるこの季節は、「復活のよろこび」を連想するのが容易な季節ではないかと感じます。

コロナウイルスだったり、ウクライナ侵攻だったり、社会情勢は苦しいことも多く、胸が痛みますが、復活されたイエスとともに、しっかり前を向いて歩んで行きたいと思います。

【大齋節（3月2日～4月16日）】



3月2日 大齋始日（灰の水曜日）

今年も、この日から大齋節が始まりました。この1週間ほど前からロシアのウクライナ侵攻が始まり、気持ちも重い大齋節になりました。「平和」を心から願います！

### 「カラマーゾフの兄弟」

大齋節第一主日の宮田せんせえの説教に「カラマーゾフの兄弟」の中ででてきた「大審問官」というお話が話題に出ました。そこで、わたし個人の「今年の大齋節ミッション」は、この「カラマーゾフの兄弟」を読むことにしました。大長編なので、一般的な訳本、意識が過ぎると言われているけれど読みやすい訳本、十分の一の縮約版、ジュニア版を市立図書館と県立図書館で準備しました。

ジュニア版を読むと、「出来事」はわかりました。縮約版を読んで、根底に「神がいるのかいないのか問題」が大きく関わっていることがわかりました。今、訳本2種類を並行して読み進めています。19世紀にドストエフスキーによって書かれたこの小説にでてくる人の「欲」とか「残虐性」とかが、21世紀になった今のロシアでもむき出しになっているように思え、苦しくなります。



### Passion Play（受難劇）

先日、リアル受難劇を体験してしまいました・・・。

ある晩、夫が疲れてお風呂に入り、のぼせて貧血を起こし意識を失ってしまったのです！顔色もなくなり、一時、「むー」とうなり声を出し白目をむく瞬間もありました。イエスが十字架上で「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」とおっしゃったのは、意識が飛ぶときのうなり声だったのだろうか、と思いました。幸いにも夫はわたしの呼びかけに意識を取り戻し、それでも、お風呂場の床に横になり、風呂椅子に足をかけて、腰にバスタオルをかけた姿は、彫りの深い顔と茶髪のロン毛も相まって、ヴァン・ダイクの「キリストの哀悼」そっくりでした。今はもうすっかり元気になりましたが、年齢的にも十分気をつけなければと思っています。



## 【徳島の春】

ちょっと重い話が続きました。でも、外は今、春真っ盛りです！



← 明谷梅林にて。盛りは過ぎてしまいましたが、柔らかい香りで美しかったです！

満開の蜂須賀桜。ピンクの濃淡が綺麗でした。 →



← 吉野川河川敷。黄色のじゅうたんが出来ていました！菜の花の香りは、「春の香り」ですね！

徳島中央公園にて。 →  
やっぱり桜はソメイヨシノが好きです。



### テモテ教会 より

☆4月4日に神戸教区の「ウイルス感染症拡大における教会活動の自粛基準」が改定され、政府から何も発令されていない場合には、「限定された聖餐式」が行えることになりました。

それを受けて、4月10日の教会委員会で、テモテ教会ではどのようにするかが話し合われました。その結果、司式者によるインテイクション陪餐、つまり、司式者がパンにぶどう酒をつけて各自に渡す陪餐を行うことになりました！！わたしたち信徒は、マスクを着けたままパンを受け取り、その場を離れてからマスクをずらして口に入れるようにしましょう。

☆入堂聖歌と退堂聖歌をフルコーラスで歌うことになりました！！

4月17日復活日のみ言葉の礼拝と陪餐では入堂に159番、退堂に160番を歌いましょう！

☆5月1日復活節第3主日、み言葉の礼拝司式者募集！

第1日曜日は武市正大さんが司式をしてくださっています。ご都合がつかず、三木亜佐子さんがオンラインでしてくださったこともありました。5月の第1日曜日はお二人ともご都合がつかないそうです。どなたか、「司式しても良いよ」という方がいらっしゃいましたら、テモテ教会までご連絡ください。どうぞ、これからの教会を皆でもり立てていきましょう！

## 趣味に生きる

趣味に生きている人はうらやましいなあと思います。Youtubeを見ていると趣味に生きて趣味で生計を立てているような人を見て思わず「いいなあ」と。

私自身の趣味は何だろうと考えてみると、自分ではあまり良くわかりません。好きなものは沢山あるし、やりたいことも沢山あるし、実際に色々なことに関心があって広く浅く色々なことに手を出しています。だからといって「趣味は何ですか?」と尋ねられても「何だろう」と悩みます。妻に聞いてみました。「私の趣味って何?」「Youtubeのザッピングじゃないの」と言われました。なるほど、客観的に見るとそうなるんだなあと感心しました。

日曜日は、教会の礼拝が終わると、次々に始まる世界中の礼拝のライブ配信を見て、深夜0時から始まるワシントンナショナルカテドラルのライブ中継を見てから眠り、月曜日の朝は、ハワイのマウイにある聖公会の教会の礼拝を見て一週間が始まります。自分の説教の答え合わせのような意味もあって、色々な説教を聞く楽しみでもあります。

1980年代以降のイタ飯ブームを引きずっているアラフィフの私には、かつて巨匠と言われていたシェフたちが、コロナ禍によって次々にYoutubeでレシピと作り方を配信しているのを驚きをもって見えています。秘伝なんてものではなくて、全部レシピをオープンにして「どうぞ一緒に作ってみて下さい」と言うので、次から次に真似をして作っています。茹でてソースに絡めればシェフと同じ味でとにかくうまいパスタが食べられるのだから、すごい時代がきたなあ。

そして、バイクや車のメンテナンス動画が役に立っています。先日は昨秋以降エンジンが掛からなくなっていたバイクをYoutubeで勉強してメンテナンスしたら無事稼働しました。最近、ウクライナ情勢をよく見ます。ウクライナから直に配信されている動画をよく見ます。ウクライナ語が耳に馴染んでくるようで、2014年に起きたロシアによるクリミア半島侵略戦争を描いたウクライナの映画「ウクライナ・クライシス」という映画を見ても、ウクライナ語への抵抗感がなくスッと映画に浸ることが出来ました。

気になったことは何でも広く浅く興味を持つ私。そう思うと趣味は妻の言うとおりの「Youtubeのザッピング」なのかもしれません。



日高良美の ACQUAPAZZA チャンネル



この春、三男と四男は、それぞれ中学校、小学校を卒業し、定時制高校(昼間部、午後)、中学校に入学しました。四男は入学式には行ったものの、相変わらず引きこもっていますが、三男は高校なので、お昼頃、自転車に乗って出かけていく生活になりました。まだ、不安も多いのですが、いつの間にか成長しているのだと思わされます。